

2021年1月5日

2021年 年頭の挨拶

株式会社ニチレイ
社長 大櫛 顕也

あけましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルス感染症が世界規模で拡大を続ける中、皆さんが、人々の食と健康を支えているという気概を持たれ、日々の仕事にひたむきに取り組んでこられましたことに、心から感謝申し上げます。未だコロナ禍は収束していませんが、新しい年を迎えられた喜びを、皆さんと分かち合いたいと思います。

それでは年頭にあたり、この不連続で不透明な世の中において、私が大切に思う二つの姿勢についてお話しします。

一つ目は「とにかくやってみる」です。皆さんは、何か新しいことや慣れないこと、難しいことを始めるとき、あれこれ考え、始める前から悩んでしまうことはないでしょうか？私も立ち止まってしまふことがあります。やがて、悩み続けていても何も状況は変わらないことに気づきます。そのようなときは、「とにかくやってみる」ことです。勇気を持って一步を踏み出してみると、目の前にある、壁だと思っていたものが実は扉であり、その先へと進んで行けることに気づくものです。難しく考えず、まずは自分のことから始めてみましょう。もし間違っていたら戻ればいいですし、また違うやり方を試してみてもいいでしょう。トライアルアンドエラーを繰り返すことが、先に進んでいくための近道だと思います。

ニチレイグループは、皆さんのチャレンジを奨励します。失敗を恐れず、何度でも挑戦していきましょう。

二つ目は「一人ひとりがリーダーになる」です。皆さんは「リーダー」と聞いたとき、どのような人の姿を思い浮かべるでしょうか？ 私は、自分で考え、決断し、実行する人のことだと思っています。たとえ多くの部下を持っていても、ただ会社のメッセージを伝達するだけでは本当の意味でのリーダーではありません。逆に、部下を一人も持たない立場の人でも、自分の言葉で考えを伝えたり、率先して行動したり、そして周囲の仲間を巻き込んだりできる人はリーダーだと思います。言い換えれば、チームの誰もがリーダーになり得るのです。もしかしたら皆さんの中には、あまり目立ちたくない、と思っている方もいるかもしれません。しかし、私自身の経験でも、リーダーになると様々な物事を解決することができ、成長を実感できて、とても気持ちが良いものです。

また、リーダーとは、自分の力だけで全て解決しようとする人のことではなく、周りのことをよく見て、様々な個性を持った仲間と互いに助け合うことができる人のことです。逆に言えば、リーダーが十分に力を発揮するためには、周囲の協力が必要です。皆さんも、仲間が何かに挑戦しようとしているときには、自分に何か力になれることがないか、話し掛けてみてください。

皆さん一人ひとりの行動が、まさにニチレイグループの活動そのものであり、それが社会を形作っていくのです。今年は「とにかくやってみる」「一人ひとりがリーダーになる」という二つの姿勢を大切にし、日々の仕事に取り組んでいきましょう。

最後になりますが、昨年 12 月 1 日に、ニチレイグループは創立 75 周年の節目を迎えました。これもひとえに、これまで当社の発展を支えてくださった先達や従業員の皆さん、お取引先や生活者をはじめ、全てのステークホルダーの皆様のおかげです。私たちは「くらしを見つめ、人々に心の満足を提供する」というミッション（使命・存在意義）のもと、一人ひとりが高い志と倫理観を持って、日々の努力と創意工夫を積み重ね、「100 年続く企業」を目指していきましょう。

全世界のニチレイグループで働く皆様とご家族にとって、
2021 年が幸多き、素晴らしい年になりますよう心から祈念して、
新年の挨拶といたします。

以 上